

令和7年度第10回教育研究評議会議事要録

日時 令和8年2月18日(水) 14時30分から15時35分まで

場所 事務局棟5階大会議室

S-Port 3階会議室 (Teams)

出席者 日詰、塩尻、金原、二又、大石、鈴木、佐藤、大島、高倉、大橋、吉川、粟井、田中、上藤、鎌塚、延原、小西、遊橋、山本、松本、福田、宮原、加藤、西村、江口、平井、水谷、原和彦、近藤、今泉、青木 (Web参加)、間瀬、小林の各評議員

欠席者 なし

陪席者 飯田、河島の各監事、中村、原正和、峰野の各学長補佐
海老澤、森田の各学長特別補佐

I 前回議事要録の承認

令和7年度第9回教育研究評議会議事要録について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1. グローバル共創科学研究科（仮称）における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の制定について

塩尻委員から、グローバル共創科学研究科（仮称）における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の制定について、資料1により説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 人文社会科学部言語文化学科における教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の一部改正について

塩尻委員から、人文社会科学部言語文化学科における教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 光医工学研究科における入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の一部改正について

塩尻委員から、光医工学研究科における入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 自然災害等による一斉休講措置のガイドライン等の一部改正について

塩尻委員から、自然災害等による一斉休講措置のガイドライン等の一部改正について、資料4により説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 山岳流域研究院令和9年度定員増への対応について

今泉委員から、山岳流域研究院令和9年度定員増への対応について、資料5により説明があり、審議の結果、これを承認した。

6. 令和8年度非常勤講師所要時間数(案)について

塩尻委員から、令和8年度非常勤講師所要時間数(案)について、資料6により説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. 株式会社VELTEX スポーツエンタープライズと国立大学法人静岡大学との包括連携に関する協定について

塩尻委員から、株式会社VELTEX スポーツエンタープライズと国立大学法人静岡大学との包括連携に関する協定について、資料7により説明があり、審議の結果、これを承認した。

Ⅲ 報告事項

1. 令和7年度第8回企画戦略会議（令和8年2月4日）報告

議長から、令和7年度第8回企画戦略会議（令和8年2月4日）について、資料8により報告があった。

2. 令和7年度静岡大学外部評価について

大橋委員から、令和7年度静岡大学外部評価について、資料9により報告があった。

3. 令和8年度静岡大学入学者選拔出願状況について

塩尻委員から、令和8年度静岡大学入学者選拔出願状況について、資料10により報告があった。

なお、間瀬委員から、入学者の成績分布データについて情報共有を行い、入学者の質に関する現状認識を本会議において共有した上で、入学者の質の向上に向けた議論を行ってはどうかとの意見があった。これに対し、塩尻委員から、入学者の学力に関する事項については、入学者選抜方法研究部会において、入試及び学力検査に関するデータ分析を行い、入試の在り方や入試制度、評価方法について検討しているところであり、今後は、これらの入試データを活用して、全学入試委員会及び全学教育基盤機構会議において議論していきたいとの回答があった。

4. JASSO 海外留学支援制度(2026年度)採択結果について

栗井委員から、JASSO 海外留学支援制度(2026年度)採択結果について、資料 11 により報告があった。

5. 次期部局長等について

議長から、次期部局長等について、資料 12 により報告があった。

6. 教員採用等報告について

議長から、教員採用等について、資料 13 により報告があった。

7. 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料 14 により報告があった。

IV その他

1. 第 2 回共創系学部合同カリキュラムセミナーの開催について

江口委員から、第 2 回共創系学部合同カリキュラムセミナーの開催について、資料 15 により案内があった。

2. 連節バス出発記念式典に伴う交通規制について

興津総務部次長から、連節バス出発記念式典に伴う交通規制について、資料 16 により協力依頼があった。

3. AI for Science による科学研究革新プログラム(チャレンジ型)について

金原委員から、AI for Science による科学研究革新プログラム(チャレンジ型)公募の申請について、既に全部局へ通知を行い、現在は URA と連携して分析し応募を促すための人選を行っているとの説明があった。

なお、工学部及び情報学部においては、URA による選抜によらず、自ら応募の意思を示している教員もいることから、該当する教員については準備を進めていただきたい。また、応募の意思を示している教員の情報については、URA にも情報共有してほしいとの説明があった。

以 上